

事例 37 水とわたしたち

DATA

場 所：岩手県
 実 施 者：岩手工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (019) 624-3131]
 参 加 者：北上市立南小学校4年生
 実 施 日：平成12年8月31日

関係する分野



背景

岩手工事事務所と北上川ダム統合管理所と北上市立南小学校の先生との懇談会を開き、アイデア、提言の中から「総合学習」の活動についての方向性が確立されました。

内容

身近にある和賀川や北上川での川遊びを通じて川に親しみ、興味を持ってもらい、次に川の自然や環境などについて水生生物調査など、川の体験活動を行いました。



川の中には何があるのかな?



北上川に棲息する生き物っていっぱい



上流調査隊のみんなは船で走行中

ポイント

- 川をよく知るために、川への親しみをもてる工夫をしています。
- 川の環境や、自然についての調査を行い理解を深めます。

成果

グループ毎に、体験学習で特に興味をもった素材をもとに表現活動を行いました。とりまとめた内容について発表会を通して分かりやすく表現しました。

参加者の声

「わたしは、川の学習でとくに、ゆうすいちについて調べました。ゆうすいちがこう水になった時、水を流し込みこう水をおさえるやくめをしているなどよく分かりました。」 (北上市立南小学校 4年生)

「ぼくは川へ行って思ったことがあります。水しつのことをしらべていてどうして川の水はにごっているように見えるのにしらべてみるとほとんどよごれていながったとけっかができました。どうしてそんなように見えるのかしらべてみたいです。」 (北上市立南小学校 4年生)



みんなのレポートを一冊の本にしました



大きい石でしょう！角が丸くてかっこいいでしょう。



みんなの結果報告2



岩手日日新聞 平成12年9月1日

次のステップに向けて

- 川の自然や環境だけでなく自分達の生活と、どのように関わっているのか調べることも大切です。
- 川の環境を良くするために、どうしたらよいか、自分達ができることを考えてみることも大切です。